

海底ごみ普及啓発教材等作成事業

1 事業の概要

本県では、平成15年度から、海底ごみ適正処理体制構築事業等により、海底ごみ専用のごみステーションや、沿岸漁業者、沿岸漁業協同組合、地元市と連携して海底ごみの回収・処理の責任分担の明確化、適正処理体制の構築に取り組んできました。

こうした取組の成果もあって、現在では海底ごみステーションが沿岸7市に設置され、その設置された地区では、沿岸漁業者が日常の操業で引き揚げた海底ごみを持ち帰り、分別して海底ごみステーションに搬入すれば、そのごみは、一次保管された後、市で処分できない処理困難物を除き、地元市の協力で地域の処理施設へ搬入、処理されるという体制が整備されています。

しかしながら、未だ海底ごみステーションの設置が一部の地区にとどまっていたり、設置されている地区でも海底ごみの回収・処理活動が沿岸漁業者全員で取り組まれていないといった課題があり、さらなる海底ごみの回収・処理活動の拡充が必要となっています。

今後は、現状での課題を整理し、取組拡大や普及方法について検討していきます。

2 平成26年度実績

海底ごみ普及啓発教材等作成事業では、小中学生向けの環境学習教材として、岡山県における海底ごみの現状等を映像化した番組を制作し、テレビ放送するとともに、啓発DVD（視聴覚教材）を作成し、県内小中学校に配布しました。

※番組の内容はこちらのページをご覧ください。

<http://www.pref.okayama.jp/page/419229.html>

担当部署

農林水産部 水産課 振興班